

広島県中小企業団体中央会 2018年2月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比9.6%増加、前年同月比8.7%増加となり、売上高は前月比3.8%増加、前年同月比1.6%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年1月の全国の住宅着工戸数は66,358戸で前年同月比13.2%減少
- ・季節調整済年率換算値では85.6万戸(前月比8.6%減)
- ・利用関係別では、持家は20,257戸で前年同月比0.1%増加、貸家は28,251戸で前年同月比10.8%減少、分譲住宅は17,448戸で前年同月比27.5%減少
- ・木造住宅の着工数は38,962戸で前年同月比0.3%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で7か月連続の減少

<広島>

- ・広島県内の1月の着工戸数は1,241戸で前年比3.3%減少、このうち持家は395戸で前年比0.3%増加、貸家は404戸で前年比32.4%減少、分譲は441戸で前年比51.5%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で5ヶ月振りの減少に転じ、好調を維持していたプレカットにも一服感がある
- ・地域別では広島市が着工戸数661戸で7.8%増加、東広島市は93戸で14.8%増加、廿日市市は93戸で78.8%増加となった一方、福山市は208戸で5.5%減少、呉市は44戸で50.0%減少、尾道市は26戸で35.0%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった

福山木材協同組合

昨年の2,3月は多忙であったため、売上は前年同月比減少となったが、前月比では増加した。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景気は緩やかな上昇傾向にあるが、印刷関連業界では、仕事量の減少など、相変わらず厳しい状況が続いている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

今後数年間、世界規模で仕事が増えてくる見込みである。投資が増加する中で、現状の設備、スペースをいかに活用していくのかを模索中である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社良い状態で横ばい傾向である。しかし、樹脂原材料値上げの影響で、収益悪化が懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年2月 2,671 m³ (前年比18.62%減少)

30年1月 2,257 m³

29年2月 3,282 m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

材料(鋼材)が値上がりしているが、販売単価への転嫁が難しい。人件費も上がりつつあるため、厳しい状況である。

広島県鋳物工業協同組合

副資材の値上分を転嫁出来ず、収益が悪化している。

自動車関連は好調であるが、一般機械が受注減となり稼働率は低下している。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区においては、航空機の後部パネル組立、製鉄機械及びタービン、コンプレッサは前年同様定時間操業で推移しており、関連する協力会社も定時間操業となっている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、自動車関連の好況及びスポット受注の増加により前月比44.0%増加、前年同月比83.0%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月は、輸出が前年同月比15%減少となったが、国内の好調が輸出の減少をカバー、前月比では16.7%減少したものの、前年同月比では4.3%の増加となった。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持

- ・1月の国内自動車販売台数は全需が474千台、前年同月比2.2%減少と5ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年比4.9%減少と5ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は2.6%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は4.1%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・アメリカの1月の全需は1,155千台で前年同月比1.0%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同15.1%増加と4ヶ月振りの前年超え
- ・欧州の1月の全需は1,389千台で、前年同月比6.5%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同12.6%増加と4ヶ月連続の前年超え
- ・中国の1月の全需は2,817千台で、前年同月比11.8%増加。マツダ車は同35.7%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は128千台、前年同月比18.6%増加と2ヶ月振りの前年超え

- ・マツダの1月の輸出動向については、輸出台数は前年比33.5%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・マツダの1月の国内生産台数は、前年同月比12.1%増加と2ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年2月の船舶建造許可実績は2隻164,200総トン（前月3隻236,100総トン、前年同月4隻371,400総トン）であった。なお、全てが輸出船でこのうち貨物船が1隻、油槽船が1隻となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月比、前年同月比共に大きな変化は見られない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

厳しい状況下ではあるが、ドリームベッド(株)が東京銀座に新店舗「リーン・ロゼ銀座」をオープンする。

「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称：クリーンウッド法）」が施行されたが、家具製造メーカーにとっては費用がかかるわりに恩恵を感じられないため、盛り上がりには欠けるようである。

コントラクト（ホテル関係）は東京オリンピック特需もあり、堅調に推移している。納品ベースでは平成30年度がピークとなる見込みである。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

為替の変動により海外工場での製造原価が合わなくなっている。

求人を出してもアルバイトが確保出来ない。

協同組合広島総合卸センター

組合員アンケートによると、組合員全体で平成30年4月の新規入社数は前年比約100人減少と、人手不足が顕在化している。

「資材関連」においては、公共工事件数は減少傾向である。また引き続き、慢性的な人手不足傾向にある。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦している。

「繊維」においては、厳冬の影響で夫人肌着は好調を継続、販売店の在庫が品薄であった。春夏物商戦の活発化も期待している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の12月の住宅着工状況は、前年比25.4%増加、内訳としては、持家は5%減少、分譲は1%減少、貸家は56%増加となった。平成29年度は官公庁物件の動きが少なく、来期に期待したい。引き続き工事業者の職人が不足している。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

2月の広島県の売上高は、びんご特選畳表は前年比34%減少、JAS畳表が45.6%減少となっており、熊本県、福岡県を含め全体的に低調であった。今後、3、4月にかけての需要増加に期待したい。

相場は横ばいのまま推移している。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

先月に引き続き今月も三次地区は大雪の影響で客数が減少した。

チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

組合員が減少し7社となり、組合の今後のあり方について、1年以内には結論を出したいと協議中である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比7.9%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比5.3%減少、冷蔵庫同4.2%増加、洗濯機同8.1%減少、IHクッキングヒーター同3.9%減少、エアコン同4.9%減少となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

平成29年度中における給油所の廃止・廃業は8カ所（3月末日での廃止予定も含む）、新設が1カ所で、全体としては7カ所減少した。旧市町村86市町村別で見た給油所数が3カ所以下のところは41市町村から42市町村に増加した。

広島県が取り組んでいる『広島県「みんなで減災」備えるフェア』の趣旨に賛同し、当組合傘下給油所へ“ローリングストック”ポスターを配布した。また、業界全体で取り組んでいる『満タン&灯油プラス1缶運動』PR用のロール紙（レシート）も配布し、災害への備えについて周知活動を行っている。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

今月は、寒波の到来により客数が減少した。

呉本通商店街振興組合

一昨年末に閉店したカレー店の跡地にメロンパン専門店が開業し、商店街への集客に一役買っている。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比42.6%増加、前年同月比9.7%減少。車検場収入は前月比42.1%増加、前年同月比9.1%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比12.4%増加、前年比14.9%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年度末に近づき、受注が増加傾向にある。依然として人材確保に苦慮している。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

2月の工事受注件数は、前月比7.5%減少、前年比4.7%増加となった。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比4%と微増、前年同月比では6%減少となった。カーテンが好調で、他の費目をカバーしている。前年累計比では14%減少、年度末累計では前年を10%以上下回る見込みである。

大型物件は一段落した感がある。

人手不足が深刻で、繁忙期においては建築工期に支障が生じている。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共工事の発注は年度をまたぐ繰越案件を除きほぼ止まっているため、中小零細各社は民間需要を積極的に受注する傾向となっている。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

2月の売上高、収益状況は、前月比、前年同月比共に大きな変化は見られない。

燃料価格が一段落し、今後しばらくは安定すると思われる。

広島輸送ターミナル協同組合

運賃の値上げ交渉においては、荷主に、ほぼ要求を認めてもらえるようになった。交渉に応じてもらえない荷主へは、取引を断っている。

運送業界から人材が流出しており、各社、繁忙期を前にドライバー不足、作業員不足に苦慮している。賃金改定や労働環境の改善が急務である。

松永地区トラック事業協同組合

2月の売上高、収益状況は前月比、前年同月比共に大きな変化は見られない。また、前月同様、同業者から輸送の協力要請があっても自社の得意先の輸送が最優先となり、稼働していない車両があっても、ドライバー不足により要請に応えることが出来ない状況が続いている。

労働集約産業である運送業者は今後、職場環境の改善や賃金の見直し等を行うことで若年労働者の雇用や定着を図る必要がある。今後、具体的な改善手段を講ずることが喫緊の課題である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

内航輸送に関して、対累計前年比では、特に大きな変化はない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

一般評価がやや増えたことにより売上は、前月比増加となった。前年同月比は前月同様、固定資産評価の入金時期の影響により収益、資金繰り共に悪化している。

組合へ、1名の新規加入があった。